

安診 ネット One

芙蓉開発株式会社では、2020年10月1日より、個別化アラートシステム「安診ネット One」を無償提供いたします。診療所や介護施設でお使いいただける、遠隔モニタリングで健康管理が可能なシステムです。



診療所の方

2～3ページを
ご覧ください。

介護施設の方

4～5ページを
ご覧ください。

安診ネットの技術「個別化アラート」は厚生労働科学研究（肺炎入院に対し感度93%）やAMED等で検証を進めており、介護施設向け（フクダ電子）や病院向け（JBCC）など各臨床現場で活用されています。新型コロナ対策にも対応しております。

TEL: 092-292-9070（平日9:00～17:30）
E mail: kaihatsu@fuyo-group.com
URL: <https://www.fuyo-group.com/contact/>





安診ネット Oneは新型コロナに対し、人それぞれの体温異常を分析し「コロナ疑いが分かる」個別化アラートシステムです。

在宅患者様やそのご家族がスマホアプリに入力したバイタル+症状データを分析し、アラートを出します。医療機関側は整理されたデータを閲覧することができます。



こんなお悩み、ありませんか？

在宅患者様への限られた回数の訪問診療だけでは、容態を正確に判断できない。平時の連続したバイタルデータがあればいいのに...

患者様に急変があったときなど、いち早く気づきたい

安診ネット Oneで解決

ポイント 1. 患者様のバイタルや症状を を収集・分析

患者様やそのご家族も無理なく続けられるアプリで、経時的なバイタル情報が収集・分析できます。



ポイント 2. 要注意者をピックアップ

患者様のデータは管理用システムで共有されます。バイタル・症状異常者をピックアップします。



ポイント 3. 情報を一画面に集約

バイタル・症状・既往歴を一画面に集約。電話診療等により遠隔から効率的に診断できます。



安診ネット Oneの使い方

在宅患者



自宅にて体温を測定し、症状と共にアプリに入力。

看護師または医師



バイタルのアラートが出た患者の情報をチェック。バイタルやその症状などの確認を遠隔で終わらせます。

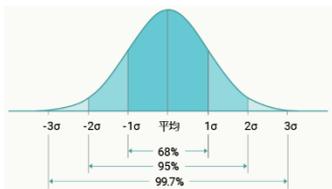
医師（遠隔）



医師や看護師は患者様を直接訪問したり、電話で様子を聞いたりして、診断が可能。

安診ネット Oneの仕組み

01. 体温データ + 症状



- 体温が正規分布する特性を利用し、日々のデータより基準域を作成
- 症状は新型コロナの上位6症状を入力

02. 体温の異常値を検知



□ : 個人ごとの基準域
ここから外れた値を発熱・高熱*として検知

※日本医師会COVID-19有識者会議の報告書での提言

03. データを分析、整理



- 複数名の体温と症状データを集約
- 厚生労働省事務連絡「相談・受診の目安」にも対応

安診ネットの技術「個別化アラート」は厚生労働科学研究（肺炎入院に対し感度93%）やAMED等で検証を進めており、介護施設向け（フクダ電子）や病院向け（JBCC）など各臨床現場で活用されています。新型コロナ対策にも対応しております。

TEL: 092-292-9070（平日9:00～17:30）
E mail: kaihatsu@fuyo-group.com
URL: <https://www.fuyo-group.com/contact/>





安診ネット Oneは健康リスクを「見える化」から「科学的」な健康管理を

入居者様の毎日のバイタルデータ+症状データを入力することで、健康リスクが赤・黄・緑のトリアージで表示され、一覧で確認できます。テラーメイドのバイタル管理で、疾患の早期発見・重症化予防にもつながります。



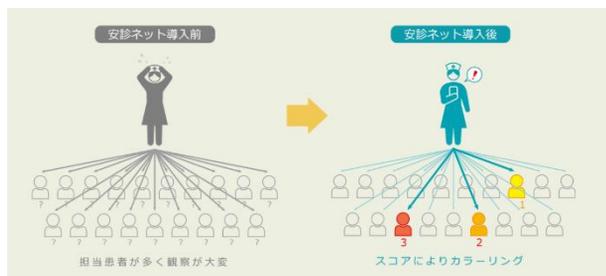
こんなお悩み、ありませんか？

看護師それぞれのスキルも判断基準も違うため、入居者様の健康管理の質を一定に保つことが難しい

入居者様の体調が悪そうだが、このレベルで病院搬送したり、医師に相談したりしていいのかが分からない

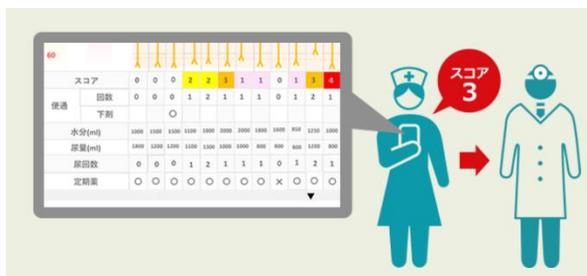
安診ネット Oneで解決

毎日の健康管理を平準化



健康リスクがスコアとして「見える化」され、入居者様の健康管理を平準化できるので、人手不足解消に役立ちます。

医師への相談基準に



容態変化を発見した際に、再度トリアージを確認することで、医師に相談するか？病院に搬送するか？の目安になります。職員も安心です。

職員様の新型コロナ対策への活用も可能です

職員様の体温と症状をスマホアプリに入力することで、職員様の健康管理にもご活用いただけます。出勤前に自宅にて体温を測定し、症状と共にアプリに入力するだけでコロナ疑いが表示されるため、自宅待機させるなどの対応を取ることが可能です。

安診ネット Oneの使い方と特徴

入居者様



入居者様のバイタルを測定し、手書きよりも簡単にシステムに入力して、データ管理。

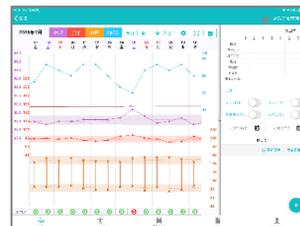
施設側



アラート

自動で分析され、トリアージを付けて健康管理。早期発見による重症化予防につながります。

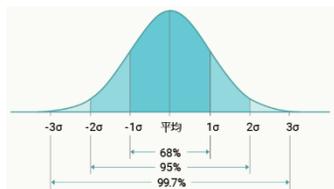
施設 & 医療機関



情報を施設内だけでなく、医療機関の医師とも共有。医師に同じ画面を遠隔で見てもらいながら、相談をすることができます。

安診ネット Oneの仕組み

01. バイタルデータ + 症状



- 体温・血圧・脈拍が正規分布する特性を利用し、日々のデータより基準域を作成

02. バイタル異常値を検知



- : 例) 個人ごとの基準域
ここから外れた体温を発熱・高熱※として検知

※日本医師会COVID-19有識者会議の報告書での提言

03. バイタルスコアリング



- 異常値等をスコア分布表に配点。スコア合計より医療リスクのトリアージを算出
- 要注意患者にアラート表示

安診ネットの技術「個別化アラート」は厚生労働科学研究（肺炎入院に対し感度93%）やAMED等で検証を進めており、介護施設向け（フクダ電子）や病院向け（JBCC）など各臨床現場で活用されています。新型コロナ対策にも対応しております。

TEL: 092-292-9070（平日9:00～17:30）
E mail: kaihatsu@fuyo-group.com
URL: <https://www.fuyo-group.com/contact/>

